

「スマート農業の実現に向けた研究会」の今後の進め方

1 「ロボット農機に関する安全性確保ガイドライン」(案)の検証

3月末まで ガイドライン最終案の公表
(第4回研究会での意見を基に修正後、公表)

6月頃 安全性確保策ワーキンググループを開催し、平成28年度
予算「農林水産業におけるロボット技術安全確保策検討事
業」における検証状況等について報告
(以降、必要に応じてガイドライン案の検討のため安全性確保策ワー
キンググループを開催)

28年度末まで 検証結果等について安全性確保策ワーキンググループ
や研究会で議論を行い、ガイドライン案を更新、策定

2 ロボット技術・ICT の今後重点的に取り組む課題の推進

8月頃 研究会を開催し、研究開発や実証・普及等の実施状況を
報告し、重点課題の進捗状況や今後の見通しについて議論
(以降、必要に応じて重点課題に係る研究開発や実証研究・普及の進
捗状況の確認のため将来像ワーキンググループを開催)

28年度末まで 研究会を開催し、重点課題の進捗状況を確認すると
ともに、次年度に向けた検討を実施

3 その他の検討課題

(1) 継続的に取組が必要な課題 (中間取りまとめ「スマート農業の推進に当たっての留意点」より)

インフラ

- RTK-GPSの基地局整備
- 農村地域の通信インフラの整備 (他分野との連携も踏まえたコストの低い通信システムづくり)
- 水管理や除草等の自動化、農業機械の自動走行等に向けた土地基盤整備との連携 等

ルールづくり

- 標準化を通じた個別システムの統合・発展 等

導入への道筋

- ビジネスモデルの構築 (技術・ノウハウの輸出、ICTをベースとしたコンサルティングビジネス、ロボット技術を駆使したコントラクター事業等)
- 農業生産の変革を進めるための農業系研究機関とICT企業との連携体制づくり 等

ロボット技術の安全確保

- ロボット技術のリスクアセスメント手法の確立
- モデル実証等を通じた安全ガイドラインの順次策定
- 技術改良後の残存リスクに係る保険等の導入 等

(2) その他の新たな検討課題

① 産学官や各地方との連携推進のための取組

- 「知の集積と活用」など協議会組織を活用した連携・推進
 - ・ 農業現場のニーズとロボット・ICT企業のマッチングの場づくり
 - ・ 非競争領域の特定と連携プロジェクトづくり
 - ・ ビッグデータの形成などに向けた連携したプロジェクトの検討
 - ・ 都道府県等を対象としたロボット技術やICTの紹介・マッチング
 - ・ ICTのリテラシーの向上などに向けた取組

② 新たな技術や論点に対する取組

- IoT等の新たな技術の活用の検討
 - ・ IoTによる機械間連携・ディープラーニングなど新たな展開の検討
- 自律走行型農業機械の今後の展開に向けた検討
 - ・ 有人－無人協調作業システムの次の段階である、完全無人走行等の実現に向けた多角的な検討